

「共に生きる場」

校長 上戸 基夫

「一人の子どもを育てるには、ひとつの村が必要である。」というアフリカの諺を目にしました。これはもちろん諺ですので、実際に「村」が必要という意味ではありませんが、それだけ多くの人々との「出会い」や「関わり合い」、つまり「多様な人が共に生きる場」が必要ということなのです。

低学年を担当していた時、クラスの子ども達は当然私の名前を正確に呼びますが、学年が上がると、次の学年の先生の名前で無意識に私を呼びます。また学年が上がるとその担任の先生の名前で私を呼びます。それだけ担任になる先生の印象が強いということがわかります。名前だけで影響されるのですから、ものの考え方や発言、行動に至るまで多くの価値観が影響します。逆に考えると、できるだけ多くの人：立場、性格、考え方、育ちの背景：に出会うことで、子ども達一人ひとりの中に多様な価値観が積み上げられ、心が豊かになっていくのです。

昨今快適さや効率化を重視するあまり、多様性が後回しにされる傾向があるのではと思う様になりました。多様性は効率や快適さを求める際には不便に感じられることもありませぬ。でも、本当にそれでいいのでしょうか？よく言われる例えですが、目的地に行くのに、時間をできるだけ短くするために新幹線に乗

って移動する。当然時間は短いので、目的地での活動時間は長くなる。反対に、目的地までの間にある景色や楽しみには気が付くことができない。もちろん目的地に到着することが優先されることも多々あります。しかしながら、私達が身を置いている「教育」においては後者が大切ではないのか、改めてそう感じるのです。友達と意見が合う。反対に友達とぶつかり、誤解が生じ葛藤し、それでも対話を続けることが人格と感性を大きく育てるのです。「すぐ理解できない人」「意見が違う人」が存在するから、子ども達は心を使ひ、言葉を探し、共に生きていく方法を学ぶのです。

学校は社会の縮図とよく言われます。最近では縮図かと疑問に思うこともありませんが、多様な子ども達が集まり、1日を過ごすことを考えれば、やはり社会の縮図と考えられると思います。

社会の縮図とはいえ、当然ながら社会に出るための練習の場とも考えられます。練習の場と考えるのであれば、失敗や変更はあつて当然のことです。トライ&エラーの繰り返しです。決して効率的に物事が進むことはありません。まさに多様性から生まれる非効率こそが、子ども達を大きく育てていきます。子どもの成長、そして心の成長は真っ直ぐには進みません。短縮してできるものでもありません。時間がかかるものであり、寄り道、試行錯誤、やり直しをすることにこそ価値が

あるのです。そして私たちは、神さまがすべての子どもをかけたのない存在として創られたと信じています。だからこそ、一人ではなく、互いに支え合いながら育っていくことに意味があります。「互いに重荷を担いなさい。」(ガラテヤの信徒への手紙第6章2節)こんな聖書の箇所が思い出されます。

冒頭の諺「一人の子どもを育てるには、ひとつの村が必要である。」を改めて読み直してみると、村の中にいる人々と多くの関係性を持ち、効率を優先するのではなく、時間をかけてその関係性を通して成長する事が大切と思えてなりません。「人と共に生きる力」とは、多様な仲間達と共に過ごし、生活の中で「理解」し「葛藤」「経験」して「成長」する。その経験が一人ひとりの社会につながり、未来へとつながっていく。子どもは一人で育ちません。誰かと共に育つのです。

忘れてはならない事に、私たち大人も、子どもたちと共に育ちます。村に生きている私たち大人もまた、子ども達から学び続ける存在です。子どもと共に生き、迷い、対話し、成長する。その姿こそが、子ども達の未来を照らしていくのだと思います。

ステパノは小さい村かもしれませんが、けれども、小さな村だからこそ、一人ひとりの顔が見え、声が届き、思いが生きます。子どもたちの未来のために、これからもそんな素敵な「村」でありたいと考え、毎日子ども達と教員が歩んでいます。

聖ステパノ学園の子どもたち

教諭 晝間 翔登

聖ステパノ学園に来て感じたことは、先生と子どもの距離が本当に近いことです。初対面でもフレンドリーに関わってくれる子が多く（距離が近すぎる人もいました）、あつという間に私もこの環境に馴染むことができました。中学生もいろいろな場面で話しかけてくれ、こんなに学年を問わず関わりを持てるとは思っていなかったです。

また、子どもたちはこの自然豊かな環境で多くのことを学んでいます。校内や公園に生き植物や虫の観察をしたり、海岸に行つて魚や安全についての勉強をしたり。本物に触れ、きらきらとした表情をしている子どもたちの姿が印象的です。

今年度担当しているのは小学三年生。毎日元気がいっぱいな学年です。元気すぎるがゆえに注意されることもあります。いいところもたくさんある子どもたちです。

授業と休み時間の切り替えをしつかりできる人が多く、授業は真剣に取り組んでいます。こちらの話をよく聞いて発言をする子が多く、積極的に授業に取り組んでいます。

また、外で遊ぶのが大好きで、休み時間はほとんどの人が外で元気よく遊びまわっています。いいところは継続し、直した方がいいところは改め、下級生を引っ張っていく立派な高学

年になってほしいと思います。

ステパノ学園の良さは少人数でアットホームなところ。もつとたくさんの人にステパノ学園のことを知ってもらい、その良さをいろんな人にかけてもらえるといいなと思います。



ステパノでの歩みを通して

教諭 長谷川 誠子

聖ステパノ学園小学校で長くお勤めさせていただく間に、学園には様々な変化がありました。教育環境、教育活動、学校の体制等々。振り返るとその一つひとつは今のステパノ学園の充実に繋がっているものであったと感じます。しかし、様々な変化はありましたが、ここで学ぶ子ども達は今も昔も変わらずに元気いっぱい、心優しい光の子たちです。ふとした場面で見られる子ども達の言動は、とても温かく周り人の心も温かにしてくれます。

一人ひとりの個性を大切にしながらも、個の

視点からだけでは見えないものを、集団での活動を通して見出していくことを大切にしている学園の指導が子ども達を成長させていると思います。一人ひとりの成長の幅はそれぞれですが、どの子も確実に成長する姿がしっかりと見られるステパノ学園。その成長した姿を見るのがとても楽しみで幸せを感じる瞬間でもあります。

全国にたくさんの学校があるにも関わらずここで学び、ここで教えることとなった児童・生徒と教員。不思議な神様のお導きです。もしかしら出会うことがなかったかもしれない仲間との時間、そして神様との時間。子ども達の未来にとっての大切な一部であってほしいと願います。

コリント信徒への手紙一 3章6節

「私が植え、アポロが水を注ぎました。

しかし、成長させてくださったのは神です。」
私たちに与えられている働きをこれからも意識し、神様の御力を信じて歩む学園であり続けてほしいと思います。



小中であつなぐ 委員会活動

聖ステパノ学園は小学校中学校でそれぞれ六種類の委員会があります。今号ではその活動の様子をご紹介します。

①代表委員会



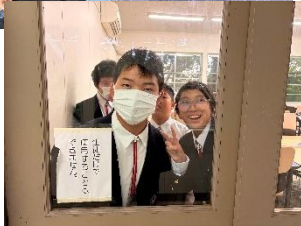
全体がよりよくなるようにクラスや学校のリーダーとしてみんなの意見をまとめて様々な活動をしています。

②飼育委員会



動物のエサやり、飼育小屋の掃除を毎朝行い、生きものとふれ合える温かい環境づくりに取り組んでいます。

③放送委員会



朝や昼の放送を担当し、学校生活が明るくなるよう音楽や情報を届けています。また礼拝の準備も行っています。

④保健委員会



けがや病気を防ぐための呼びかけや掲示物づくり、衛生用品の管理を行い、健康で安全な学校を支えています。

⑤図書委員会



本の貸し出し管理やおすすめ本の紹介、図書室の装飾を行い読書が楽しくなる環境づくりを進めています。

⑥環境美化委員会



児童生徒全員が校内を気持ちよく使えるよう掃除や植物の世話をし、美しい学校づくりに取り組んでいます。

今年度は特に小学校と中学校が協力し、活動する機会が増えています。児童生徒一人ひとりが責任感を持ち、任された仕事に取り組んでおり、自主性や積極性を養っています。自分たちが毎日過ごす学校を過ごしやすくするために

はどのような役割を果たすべきか。小学生と中学生の異なる視点から同様の係活動に取り組むことにより、聖ステパノ学園というまとまりに真摯に向き合えるよう声掛けをしながら日々活動を続けています。

【ステパノまつり】

今年のステパノまつりは、台風の影響もあり、準備が大変でしたが、みんなの頑張りでも盛り返りました。

九月六日にぼくは、小学校最後のステパノまつりで働きました。ぼくは、全体の手伝い係でした。六年生の屋台は、焼きそば・アイス・射的でした。ぼくは、焼きそばを中心に手伝いました。焼く時は軍手をつけなければ手がやけどだらけになるので軍手をつけました。

お客さんはたくさん来てくれて、中には常連さんも登場しました。ぼくの家族も「おいしい」と言ってくれてうれしかったです。

祭前祭では、五年生のフルーツポンチが一番おいしかったです。
小6 Y・H

【運動会】

1年生にとっては初めての運動会。そして、6年生にとっては小学生としての最後の運動会。それぞれがどんな思いを抱いたのでしょうか。

うんどうかいには、リレーがたのしかったです。バトンをわたせてうれしかったです。たまいはたまをなげられるようにこれからもがんばりたいです。
小1 N・Y

うんどうかいのおもいでについてたのしかったことがあります。すずわりとつなひきた

のしかったです。すずわりはなにかでてきたのしかったです。あかぐみをおうえんしました。かちました。らいねんもかちます。
小1 A・M

うんどう会ですずわりをやりました。とつてもたのしい時間でした。でも、なかなかわれなかつたです。
しばらくしたら…、われしました。白ぐみがさきにかちました。
小2 A・M

十月十三日、ステパノ運動会がありました。予び日だったので、晴れてよかつたです。ぼくががんばつたのは、すずわりです。すずわりの前に作せん会ぎをして、話し合つたのは、「みんなですずの割れ目に当てよう。」という作せんです。中々割れないので、聖なる杖が出てきたのが面白かつたです。

白組の作せんがせいこうして、先に割れてかちました。うれしかったです。
小3 A・K

僕が一番頑張つた競技は徒競走です。理由は、一年生から五年生まで、一度も一位をとれなかつたからです。なので、今年は絶対一位をとりたいと思つて頑張つて走つたら初めて一位をとれました。とてもうれしかったです。

一番上手くできた競技は〇〇運びです。下級生と持つ位置の高さが違うので、手の位置を調整して落ちるのを防ぎました。

この運動会を通して学んだことは、どんなに辛くても決して諦めないこととチームワークの大切さです。勝つたこともうれしかったです。
小6 T・Y

【秋の遠足】

今年の秋の遠足は1年生から5年生まで全員で「富士サファリパーク」に行きました。当日は天候にも恵まれ、とても充実した1日を過ごすことができました。6年生が修学旅行で不在だったので、5年生にとっては初めてリーダーとして下級生をまとめる行事となりました。小学5年生のみんなは秋の遠足を通してどのよう成長したのでしょうか。

きのう、学校の1年生から5年生まで遠足に行きました。ふじサファリパークに行きました。ジャングルバスでライオンやくまやチーターを見ました。チーターの赤ちゃんを見ました。とてもかわいかつたです。あと木にのぼつていました。まだ大人のチーターよりもすごい小きかつたです。
小4 I・O

○今日は、サファリパークに行きました。ライオンやクマなどの動物のえさ体験ができてちよつとびびりました。行つたことならありましたが、バスには乗つたことがなかつたので、バスで行くと動物たちをより近くに感じました。

○班長としてみんなのことをまとめるのが難しかったです。

○みんなでライオンバスに乗つて、クマやライオンやラクダにえさをあげました。楽しかつたです。でも、もう少し自分で考えてはやく動いたりしていたら、もっとよくなつたのかなとも思いました。

○ぼくは、6班のリーダーでした。1年生がはなれないように手をつなぎました。手があたたかくて、嬉しい気持ちになりました。

○バスレクをしてとても良い経験になりました。反省としては、ちゃんと班のことは見て行動すればよかったかなと思いますが、班長はとても楽しかったです。

〈5年生の日記より〉



【修学旅行】

6年生は2泊3日で京都奈良方面への修学旅行に行きました。帰りは大雨で大磯駅から学校までの距離が遠く感じられましたが、無事に学校に到着した6年生は、出発時とは見違えるくらい大人びた雰囲気でした。きつと貴重な経験をたくさんしてきたのだと思います。

修学旅行に行く日はうれしくていつもより早く起きました。一日目、近鉄線に乗って食べたからあげ弁当がおいしかったです。東大寺の大仏が大きくてびっくりしました。庭もきれいでした。夜、みんなと一緒にご飯を食べたり、お風呂に入ったのが楽しかったです。

2日目、清水寺で写真を撮りました。小さいカメラを使って自分で写真を撮るのは初めてだったので、楽しくて何枚も写真を撮ってしまいました。金閣寺はピカピカで本当にきれいでした。立命館平和ミュージアムでいろいろなものを見て、戦争はしてはいけないと思いました。二条城は大きくて、その中でもきれいでした。

3日目の思い出は京都タワーです。一番行きたかったところだったからです。京都タワーに登って見た京都の町がきれいでした。本当に楽しい修学旅行でした。小6 S・K

十月二十九日修学旅行一日目。

学校に朝七時に集合しました。四十四分発に乘ろうとしましたが、一本乗りおくれでギリギリでつきました。七時になり先生達にあいさつをして、電車に乗って小田原まで行きひかり633号に乗り、京都についてお弁当を買いました。お金が余ったので抹茶クリームの入ったパンを買いました。近鉄の中でSちゃんと一緒にお弁当を食べてとてもおいしかったです。奈良に着いて最初に東大寺に行きました。行くまでに鹿がたくさんいてとても可愛かったです。東大寺の大仏はとても大きくてすごかったです。二月堂のおみやげのみそを二つ買いました。おごぶかいの大半を消費しました。最悪です。

次は、聖公会奈良教会に行つて、その後たき川旅館に着いてご飯を食べました。とてもおいしかったです。澤邊先生がたくさん食べてすごかったです(笑)。お風呂は後半なので待機組と一緒に遊んで楽しかったです。お風呂に入つて寝て。

次は、二日目になりました。

清水寺は景色がきれいでした。銀閣と金閣はかっこよかったです。金閣でトイレから帰ったら誰もいなくて迷子になりました。最悪です。(本日二度目・・・)でも、かわりにお菓子を买买もらえたのでうれしかったです！続いて錦鶴に行つてご飯を食べてすごくおいしかったです。



です。その後、平和ミュージアムに行き、二条城の閉場1分前に着いてギリギリで見られました！宿に着いて寝て。最終日になりました。

宿の人にあいさつをして、三十三間堂に行きました。ギリギリまで宿の人が送ってくれて親切でした！三十三間堂は観音様がたくさんいました。残念なことに、M君が頭痛で行けなくなつてかわいそうでした。そこで栗のお菓子を買いしました。本当は栗のどら焼きが買いたかったけど、残り二百円になつちやうのがまんしました。お菓子作りはコスモスと金木屋を作りました。上手に作れてうれしいです！抹茶と食べておいしかったです！京都タワーを見てランチビュッフェで食べ物たくさん食べました。デザートがとてもおいしかったです。食べ終わつて京都駅で一時間くらいおみやげを買つて電車に乗りました。帰りもG君とSと一緒に乗れました。最初の方は一緒に絵を描いていましたが、三十分後くらいで描くのをやめて、駅に着くまで寝ました。降りて、かくかくしかじかあつて学校に着いて先生にあいさつをして、親と合流しました。G君がみそきんをくれてうれしかったです！その後家に帰りました。

小6 W・S



中学校

9月にステパノまつりがありました。お客様がたくさん来て下さり、とても盛り上がりました。

今日はステパノ祭り本番でした。ボーリングは行列ができ、いそがしかったです。

ぼくはちゃんと接客をすることが目標でした。本番では、ちゃんと接客することができて、ぼくの目標が達成し、家に帰ったら達成感でいっぱいでした。

中1 T・T

今日は、ステパノまつり本番でした。最初から、じゅんぴが大変でした。



ピザを焼く時にだいたいこのピザがこげてしまいました。そこが反省点です。でも、後半からこげもなく、うまくできました。できればこげていないピザを提供したかったです。

お客さんがいっぱい来てくれて、最初から行列ですごい大変で、すぐかまどに入れて焼かないと間に合わない状況でした。でも、いっぱいの人が買ってくれてうれしかったし、もつと頑張ろうって思いました。

すごく早く売れたピザがあって、それがマルゲリータです。最初からもうほとんどの方がマルゲリータを頼んでいました。でも、後半くらいになるとツナマヨコーンピザがいっぱい売れました。



今日1日すごい大変だったけど、楽しかったです。ステパノまつりが終わったので、次は運

動会練習があります。今度は運動会練習に気持ちを向けてやっていきたいと思えます。

中2 H・R

今日はがんばって準備してきたステパノ祭りの当日になりました。朝は色々な所に立ち入り禁止の紙をはりに行きました。後は階段のところ紙をはりました。受付をしました。お昼をすまして午後に気付いた所は少しだけゴミをまとめて下のゴミ箱に入れに行きました。お客様のお手伝いもできて良かったです。暑い中で仕事は意外と大変だったけど、みんなで協力できたとおもいました。

中3 K・T

10月、順延になりましたが、運動会が開催されました。一人ひとりが練習してきた成果を発揮した1日となりました。

今日は中学生になって初めての運動会、非常に新鮮だった。まず、景色が今までと違って見えた。今までは、中学生が遠く感じていたが、今では自分が中学生なので、時の流れを肌で感じた。私の心境の変化はさておき、強く印象に残っていることを二つ書きたいと思う。

一つ目はエール交換だ。赤組団長のY君、白組団長のK君、二人とも非常に格好良く、輝いていた。二人にはリス・ペクトシかない。改めてなるが、本当に格好良かった。

「赤組と白組を最後まで引っ張ってくれて本当に有難う御座居ました。」

二つ目は紅白対抗リレーだ。小一から中三までバトンを繋いでいくステパノの醍醐味である種目だ。学年が上がる毎にスピードが増して

いき、最後の最後までどこが勝つか分からない、非常に興奮した。順位は、一位赤、二位青、三位黄、四位白だった。非常に白熱したレースだったが、これが最終種目で、次は緊張の得点発表だ。結果は、赤組³⁴³点、白組³²¹点で赤組の勝利。私は白組だったので悔しい気持ちと、白組の中三を最後に勝利に導く事ができなかった申し訳なきで胸がいっぱいになった。なので私は、スローガンである「元氣、やる気、本氣」の三つを、たくさん失敗したが達成できたと共に、人としても成長できたと心から思う。

中1 S・R

今日は、一生忘れられない日になる。と改めて感じ家を出ました。

今日は中学校最後の運動会です。朝から自分の係は忙しく、来客が座る所に後座をひいたり、万国旗を掲げたりしていました。そんなことをしているうちに開会式の時間になり、「最後の運動会」が始まりました。

旗取り綱引きは、練習の時から白組に全敗で私たち赤組が劣勢でした。だから前日までずっと人の配置を考え続けていました。その甲斐あってか前半は赤組優勢だったのですが結果は引き分けの白組の勝利で、あれだけ作戦を立てたのにも思

いしましたが、引きずっていてもどうにもならないことだったので、切り替えて次の競技に臨みました。でも本当にくやしかったです。次は応援合戦について

です。この競技への思いの入れ方は、他の競技とは比べものにならないものがありました。二



週間も前から朝、放課後に練習をし、人の配置などにもかなりの気を配りました。練習中は「本当に大丈夫かな」「白の方が声出てるな」など不安に思うことも悩むことも多く、最後の方の練習の時間は浮足立ってしまっていたように思われます。しかし本番はそんな気持ちよりも自分の持つ全ての力を白組や審査員にぶつけようと思えました。ふと去年のこの日を思い出しました。去年は自分は太鼓をたく役割を担っており、その場所から自分は大きな声を出し、広い空に向かって拳をつきあげている団長を見ていました。自分もこんなふうになろうと思ったことを今でも覚えています。そして今年自分がそうなる番で、その場所に立っていることへの喜びがこみあげてきました。結果は、まさかの引き分けでびっくりしました。それだけ白も赤も一生懸命頑張ったんだろうなと思うことができました。

最後は紅白対抗リレーについてです。これが最後の競技でした。自分は赤の赤でアンカーでした。トップでアンカーにバトンが渡された自分は、全力でグラウンドを走りながら顔をあげ、今この瞬間ステパノのグラウンドを走っているということをかみしめ、ゴールテープを切りました。この時の感覚はたとえようがないくらい気持ち良かったです。

閉会式が始まり、得点発表が行われ、赤組が優勝ということになりました。全体での優勝杯とリレーでの優勝杯を両手に持ちながらの校歌はなんだか嬉しくも悲しくも誇らしくもありました。この勝利は皆とつかみとったものなので、皆で喜びを分かち合いたいと思いました。

自分はもういないけれど、来年の運動会が楽しみです。
中3 Y・T

深まる秋の中、遠足、修学旅行に行ってきました。

今日は秋の遠足でした。朝早く起きたので2度寝したいくらいです。電車で1時間くらいゆられながら上野国立科学博物館行き、班ごとに自由に回りました。今回は私が班長だったのでドキドキしていました。博物館の中で1番楽しかったのは、松澤先生から与えられたミッションです。3つのミッションをこなしたら、11時頃博物館を出てお昼です。みんなでレジャーシートをひいてお祈りしてからお昼を食べました。自分で作ったお弁当はおいしかったです。そしてその後、山手線に乗って浜松町に行き、お楽しみの劇団四季「秋」演目バック・トゥ・ザ・フューチャーです。演目の中で「すごい!!」と思ったのは、まず上映前の舞台の装飾です。デロリアンに乗っているみたいでした。2つ目は煙やシャボン玉の演出です。言葉には出せない技術だと思いました。3つ目は演目の最後にマーティとドクがデロリアンに乗って1回転した場面です。フィナーレなのでこういう演出もすごいと思いました。帰りは各方面ごとに電車に乗り、私は大磯駅降車なので12人で帰りました。電車の中でたくさんお話したので楽しかったです。長時間立ったり座ったりでヘトヘトです。

2年生最後の秋の遠足はとっても充実して勉強になり、友達



との仲が深まった思い出深い遠足でした。班長は緊張したし失敗したところもあるので、もう1回行ってデロリアンに乗り、2025年10月30日午前7時10分に行きたいです。そうすれば、3年生も一緒に秋の遠足にいけるはず。今日はとってもしっかりしたので、ゆっくり寝て明日の朝練に遅れないように、学校を休まないように寝ます。
中2 O・W

自分はこの修学旅行で色々なことを学んで帰ってきたと思っています。

一日目は、原爆ドームや平和記念資料館に行ったりして各の恐ろしさや戦争の悲惨さを身をもって知ることができてとても良かったと思っています。

二日目は、宮島に行ってお土産などを買ったり、しゃもじを作ったりして楽しかったです。鳥居のところまで行けなかったのがとても悲しかったです。

三日目は、姫路城に行つてガイドさんからの色々な知識が手に入ったり、城がどんな感じの構造になっているかを知ることができて良かったです。

この修学旅行でたくさんの方々と学び、そしてクラスのみんなのことをもっと知ることができて本当に良い修学旅行になったと思います。



中3 K・K



